



2024年8月期 第2四半期末

決算説明資料



Tune the Next

株式会社エッチ・ケー・エス

東証スタンダード
証券コード：7219

1. 当社紹介
2. 2024年8月期 第2四半期連結決算概況
3. 第2四半期 連結決算の概要
4. 第2四半期 連結売上実績、および営業利益の推移
5. 第2四半期 連結利益の推移
6. 対前年同期比 第2四半期連結経常利益の増減要因
7. 主要な販管費科目の増減
8. 2024年8月期 第2四半期貸借対照表の概要
9. 2024年8月期 第2四半期末におけるトピックス
10. 2024年8月期 第2四半期末までにリリースされたおもな新商品
11. 2024年8月期 経営目標

1. 当社紹介

経営理念

感性に訴える
こだわりのもの造りを通じて
お客様のライフスタイルを
より個性豊かなものに演出する事に
挑戦し続ける。

経営方針

1. お客様の立場で行動する
2. 全ての品質を向上する
3. 世界的視野で行動する
4. 市場は自ら創造する
5. 環境との調和を図る

行動方針

1. プロ意識を持とう！
今の自分の仕事レベルに自信が持てるか
今やっている仕事でお客様が満足できるか
常に目標意識を持って前向きに行動しよう！
常に競争意識を持って自分のレベルを高めていこう！
2. 情報を共有化しよう！
良い商品を創るためには会社の連携が必要
自らの役割・責任を明確にし、良い商品を作るために
コミュニケーションを活発にしよう！
3. 魅力ある会社にしよう！
お客様の満足度は、良い商品、良いサービスから生まれ、
良い商品、良いサービスは社員の満足度から生まれる。
会社の将来像を自分たちで造りあげ、
自ら行動を起こし魅力ある会社にしよう！

会社名 **株式会社エッチ・ケー・エス**

本社所在地 **静岡県富士宮市上井出2266番地**

設立 **1973年10月3日**

資本金 **878百万円**

代表者 **代表取締役社長 水口 大輔**

上場証券取引所 **東京証券取引所 スタンダード市場
(証券コード 7219)**

従業員数 **383名(連結)
(外、平均臨時雇用者数 41名)**

主な事業内容 **自動車部品の製造、販売**

主な国内子会社 **日生工業株式会社
株式会社エッチ・ケー・エス テクニカルファクトリー**

主な海外子会社 **HKS USA, INC.、HKS EUROPE LIMITED、
HKS(Thailand) Co., Ltd.、HKS-IT Co., Ltd.
艾驰楷时(上海)汽车科技有限公司(HKS上海)**

1. 当社紹介(事業の紹介)



オートアフター マーケット事業

トータルバランスチューニング

アフターマーケット向けのチューニングのパイオニア企業として、事業内容は多岐にわたります。オリジナルマフラーやサスペンション、電子制御部品やエンジンパーツの設計・開発・製造などをはじめ、とりわけエンジン開発で培ったノウハウと実績が私たちの事業領域をさらに押し広げています。それは大排気量エンジン搭載の高級車モデルのチューニングをねらうスーパーチャージャーの開発であり、個性溢れる大人のチューニングを視野に入れた取り組みです。エンジニアの発想で常にいちばん新しいものを考え、カタチにするエッチ・ケー・エス。クルマの進化を真摯に見つめ、常に最高のドライビングパフォーマンスを引き出し、お客様の喜びを極大化します。



エキゾーストパーツ・サスペンション・過給器他 OEM事業、機械加工受託事業

ISO9001 認証取得、品質に基づいたモノづくり



自動車用アフターマーケットのチューニングで培われた技術を生かし、主要自動車メーカー様などへの部品のOEM供給を行っております。マフラーの自動車メーカー様での純正採用。電子制御部品の採用、スーパーチャージャー・ターボチャージャーの純正採用など、各分野でのアフターで培った技術が自動車メーカー様をはじめ、自動車に限らず、マリッジット用のスーパーチャージャー等にも採用されております。HKSでは自社での研究、開発、自社生産設備を有し、ISO9001 認証取得済みの工場での品質に基づいたモノづくりを行い、各種メーカー様のニーズにお応えいたします。

主要なオートアフターマーケットパーツ



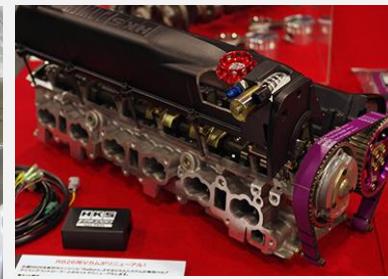
マフラー商材
(LEGAMAX TRAILMASTER)



サスペンション商材
(HIPERMAX for GR86/BRZ Cup)



ターボ・冷却商材
(Full Turbine Kit)



エンジン商材
(RB26 V CAM System)



用品系商材
(SUPER RACING OIL Series)



電子系商材
(RB26 Full Control System)

1. 当社紹介(事業の紹介)

IoT事業

IoT車載通信機的设计、開発、製造、販売事業

HKS IoTコネクティッドサービスを、専門ノウハウをもって構築したIoT車載器HBASシリーズにて展開しています。
 HBASシリーズには各種センサが搭載されています。搭載の各センサで車の位置や速度の変化、急加速の回数、車の傾き等を検出します。ドライブレコーダモデルでは、360°カメラからの映像を画像処理し、事故等の衝撃時の映像に加え、進行方向からの飛び出し、ドライバーの「ながら運転」などの注目すべき映像のみを抽出可能です。
 これらの情報や映像は、LTE通信で直接クラウドサーバーやスマートフォン等にデータを送信するので、SDカードの抜き差しが煩わしさがありません。
 また、Option Adapterを使用すれば、通信機能を持たない様々なデバイスと繋げることができ、IoTデバイスとしてご使用頂けます。



置き去り防止装置「MAMORU」



研究開発分野



排気ガスを利用した発電機 HKS TURBO GENERATOR

エンジンでの燃焼後、そのまま捨てられる排気ガスの熱エネルギー(排気損失)を電気エネルギーに転換し、回生利用することで内燃機関の熱効率を高める装置を開発しています。

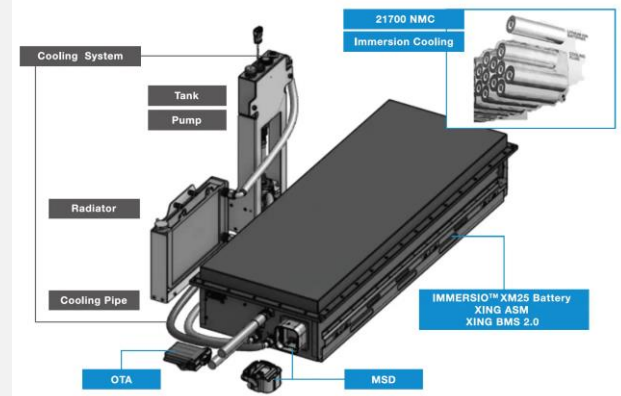
バッテリー事業分野 EVトラック向け 交換式バッテリーパック

環境省委託事業「バッテリー交換式EV開発及び再エネ活用の組合せによるセクターカップリング実証事業」用交換式バッテリーパックに参画し、開発を進めています。



バッテリー事業分野 EV用 液浸冷却バッテリー

液浸冷却バッテリーパックの開発を、協業関係にある台湾のXING Mobility社と進めています。



<p>当期の概況</p>	<p>当社グループが主とするアフターマーケットをとりまく環境は、ウィズコロナにともなう消費行動の多様化等で、特に当社の主要マーケットである北米を中心に、海外市場からの引き合いに変化がみられた。アフターマーケット以外の分野では、委託企業の生産調整の影響が徐々に和らぐなか、ガソリンとガス燃料とを併用させるBi-Fuel事業の事業集約等による売上への影響はあったものの、売上高全体では前年同期を上回った。</p>
<p>優先的に対処すべき課題</p>	<p>WHOが新型コロナウイルスの感染拡大を受けて発令していた「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態の宣言」を終了し、日本でも新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類に変更されるなど、同感染症に関する行動制限の緩和や社会経済活動の正常化が世界的に進展。これにより、今まで制約されていた旅行、外食、アミューズメントへの支出等、ユーザーの消費行動も多様化していくことが予想され、巣ごもり消費の影響で堅調に推移していた当社業績にも影響を及ぼす可能性がある。当社は海外販路の開拓やターゲットとする車両カテゴリの拡充、海外現地車両への対応等に注力し、売上の裾野を拡げていくこと等でこれに対応する。</p>
<p>売上の状況</p>	<p>当社グループが主とするアフターマーケット市場では、ウィズコロナにともなう消費行動の多様化等により、北米を中心に、海外市場からの引き合いに変化がみられている。また、水不足によるパナマ運河経由便の船舶遅延状況は変わらず深刻で、喜望峰等を経由する代替ルートにもブッキングが集中しており、北米東海岸向けの便の遅延が、そのまま売上計上の遅れにもつながっている。上記より、国内市場向けは増加基調を維持するものの、海外市場向けの売上減が影響し、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、4,197百万円(前年同期比5.9%減)となった。</p>
<p>利益の状況</p>	<p>売上原価率は、原材料高の影響等を受けて上昇し、売上総利益率は0.7%の下落となった。販売費及び一般管理費は、主に北米向けの売上減により、販売運送費こそ大きく減少したものの、昇給の影響や、販促活動推進にともなう広告宣伝費の増加、設備投資にともなう減価償却費の増加等で増加し、営業利益は前期比19.7%増の637百万円となった。また、経常利益は141百万円(前年同期比35.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は95百万円(前年同期比34.9%減)となった。経常利益の減益幅が営業利益を下回った要因は、主として為替差益の発生によるもの。</p>

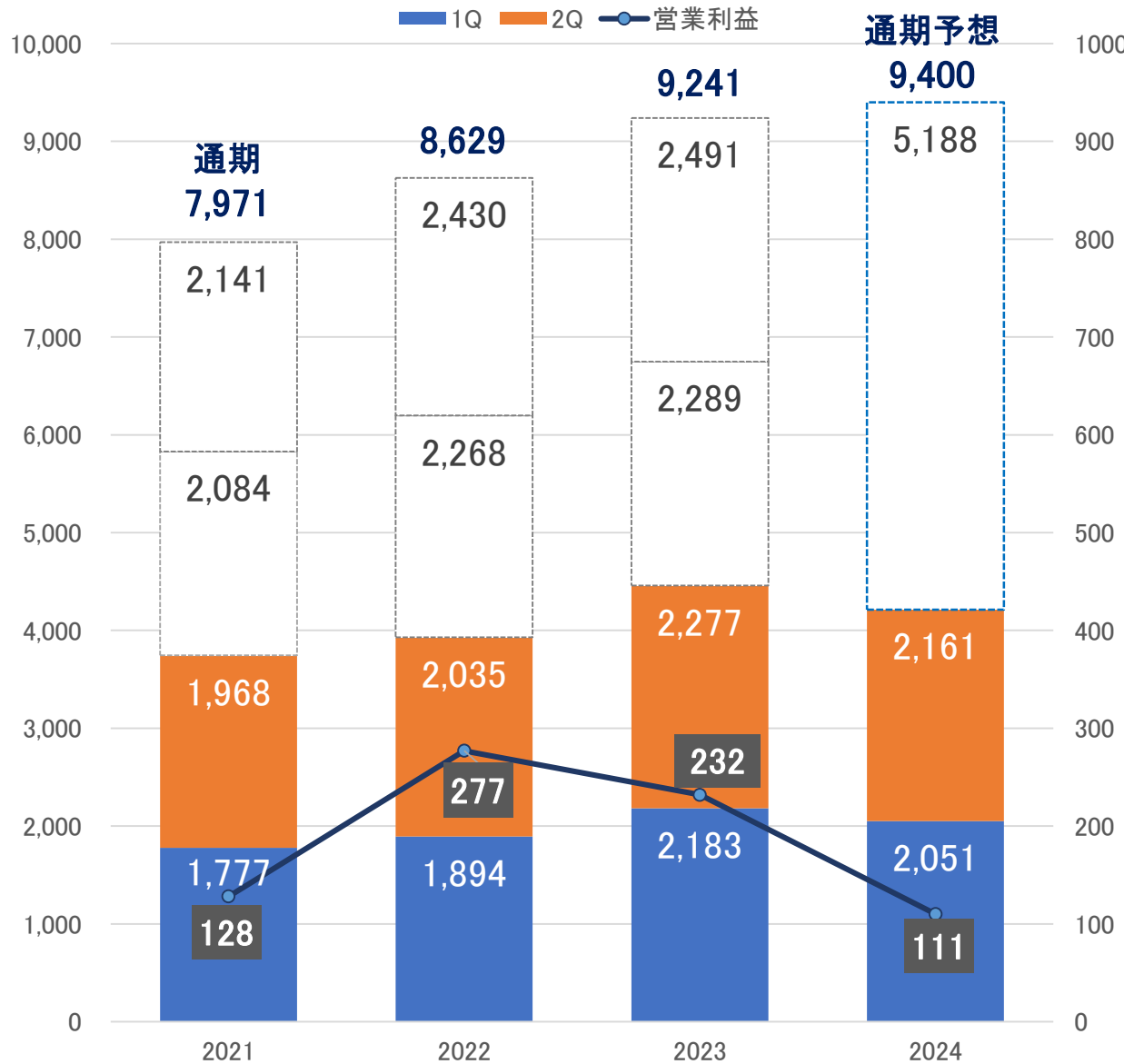
(単位:百万円)

3. 第2四半期 連結決算の概要 (単位:百万円)

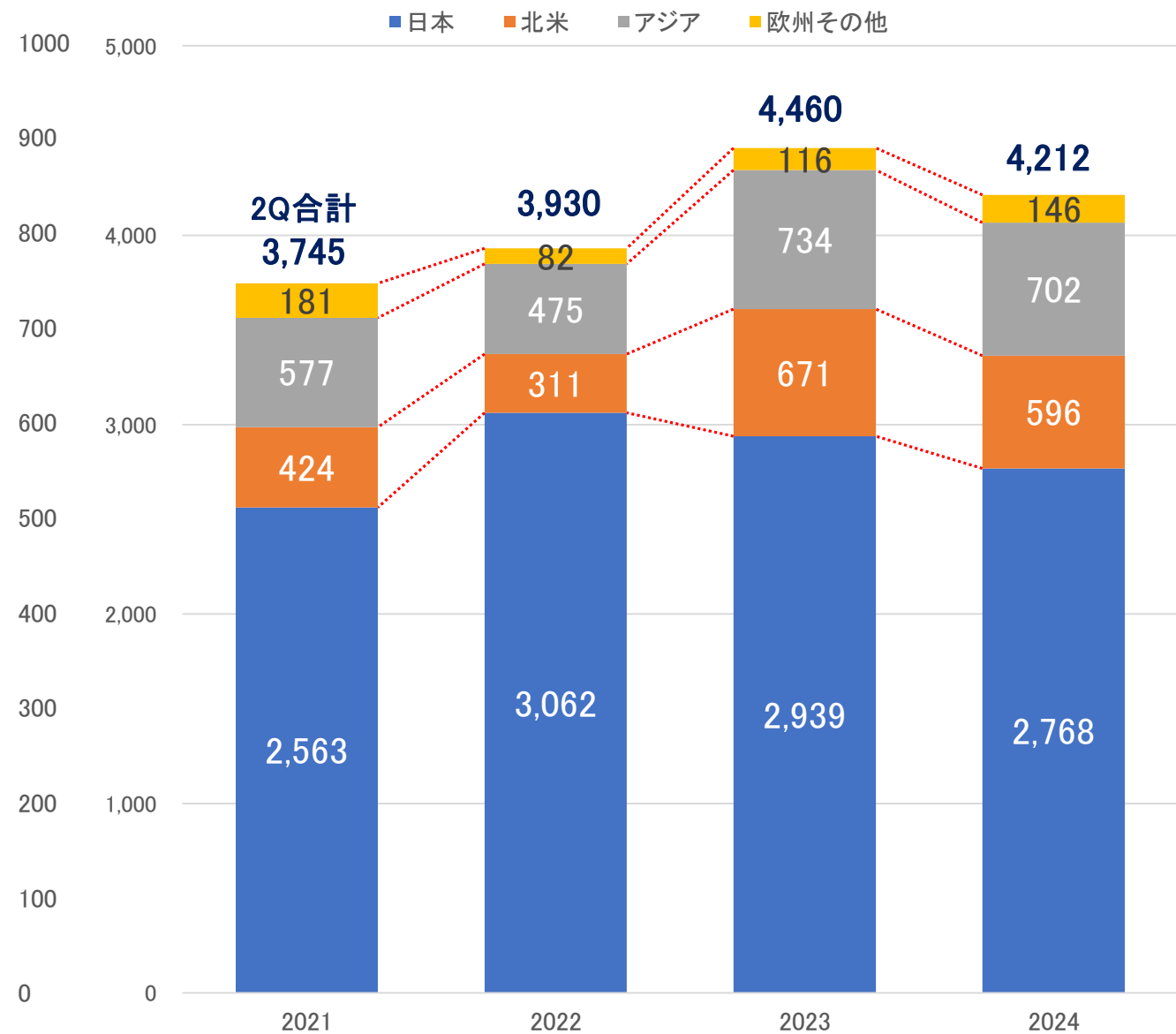
	2021年2月期		2022年2月期		2023年2月期		2024年2月期		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期比
売上高	3,745	100.0%	3,930	100.0%	4,460	100.0%	4,209	100.0%	94.4%
売上総利益	1,451	38.7%	1,671	42.5%	1,824	40.9%	1,696	40.3%	93.0%
販売費及び一般管理費	1,323	35.3%	1,393	35.4%	1,592	35.7%	1,585	37.6%	99.6%
営業利益	128	3.4%	277	7.1%	232	5.2%	112	2.7%	48.3%
経常利益	167	4.5%	344	8.8%	219	4.9%	154	3.7%	70.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	118	3.2%	326	8.3%	146	3.3%	122	2.9%	83.6%
一株当たり当期純利益(円)	83.76		230.85		103.87		86.84		
一株当たり純資産額(円)	6,153.31		6,525.78		6,768.05		7,065.42		
一株当たり中間配当金(円)	—		—		—		—		
株価(円)	1,710		1,806		1,853		2,100		
PBR(倍)	0.28		0.28		0.27		0.30		
ROE(%)	1.4		3.5		1.5		1.2		

4. 第2四半期 連結売上実績、および営業利益の推移

四半期業績の推移（単位：百万円）

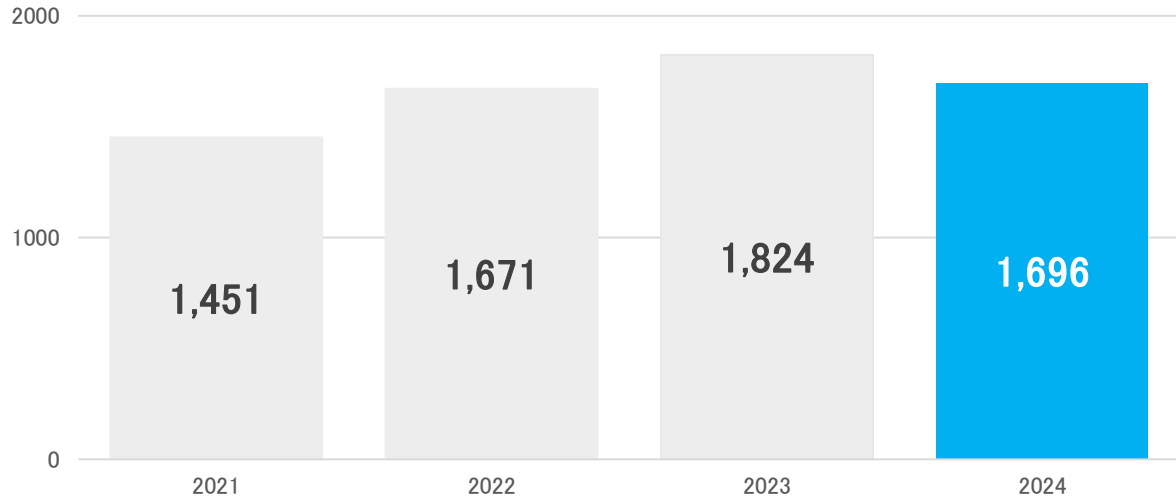


2Q末時点 地域別売上実績の推移（単位：百万円）

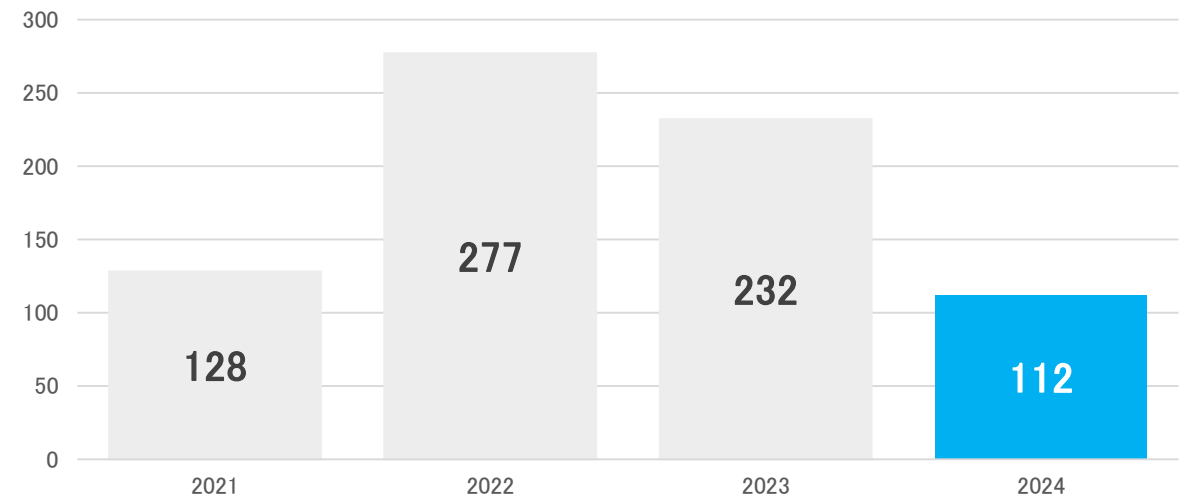


5. 第2四半期 連結利益の推移 (単位: 百万円)

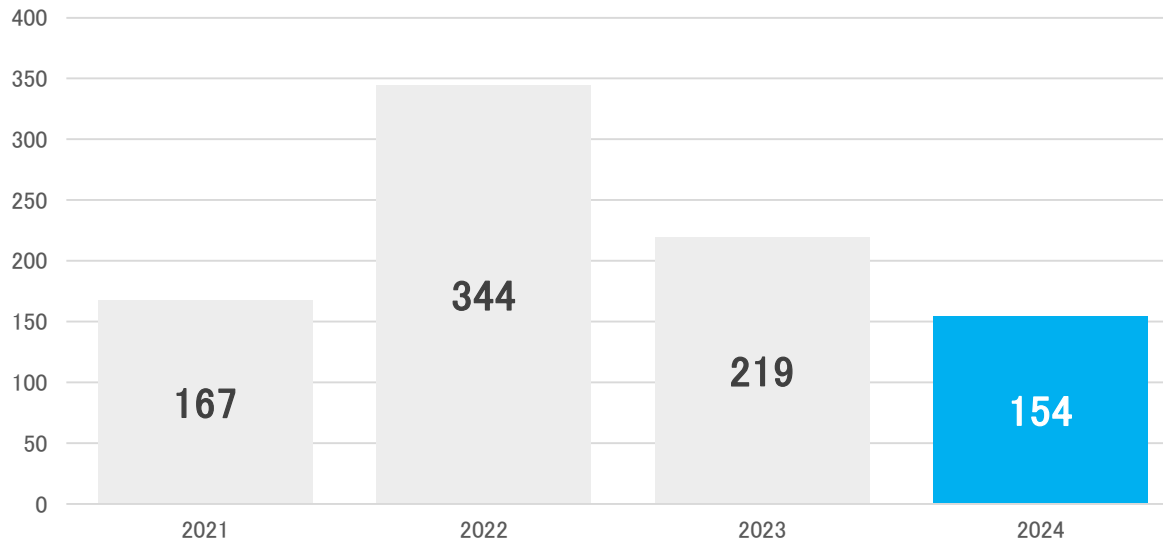
売上総利益 (単位: 百万円)



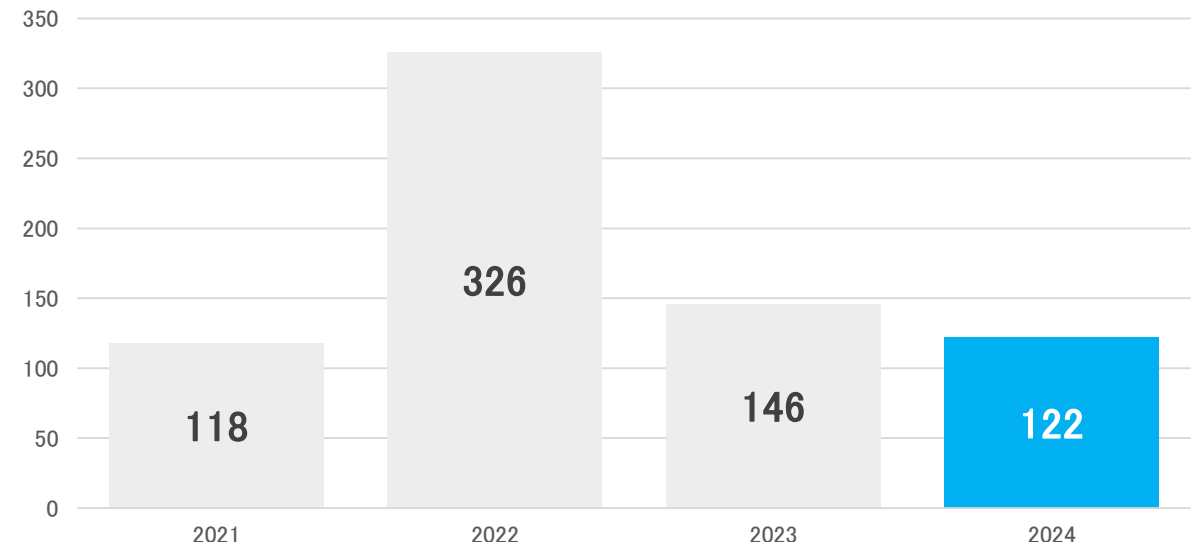
営業利益 (単位: 百万円)



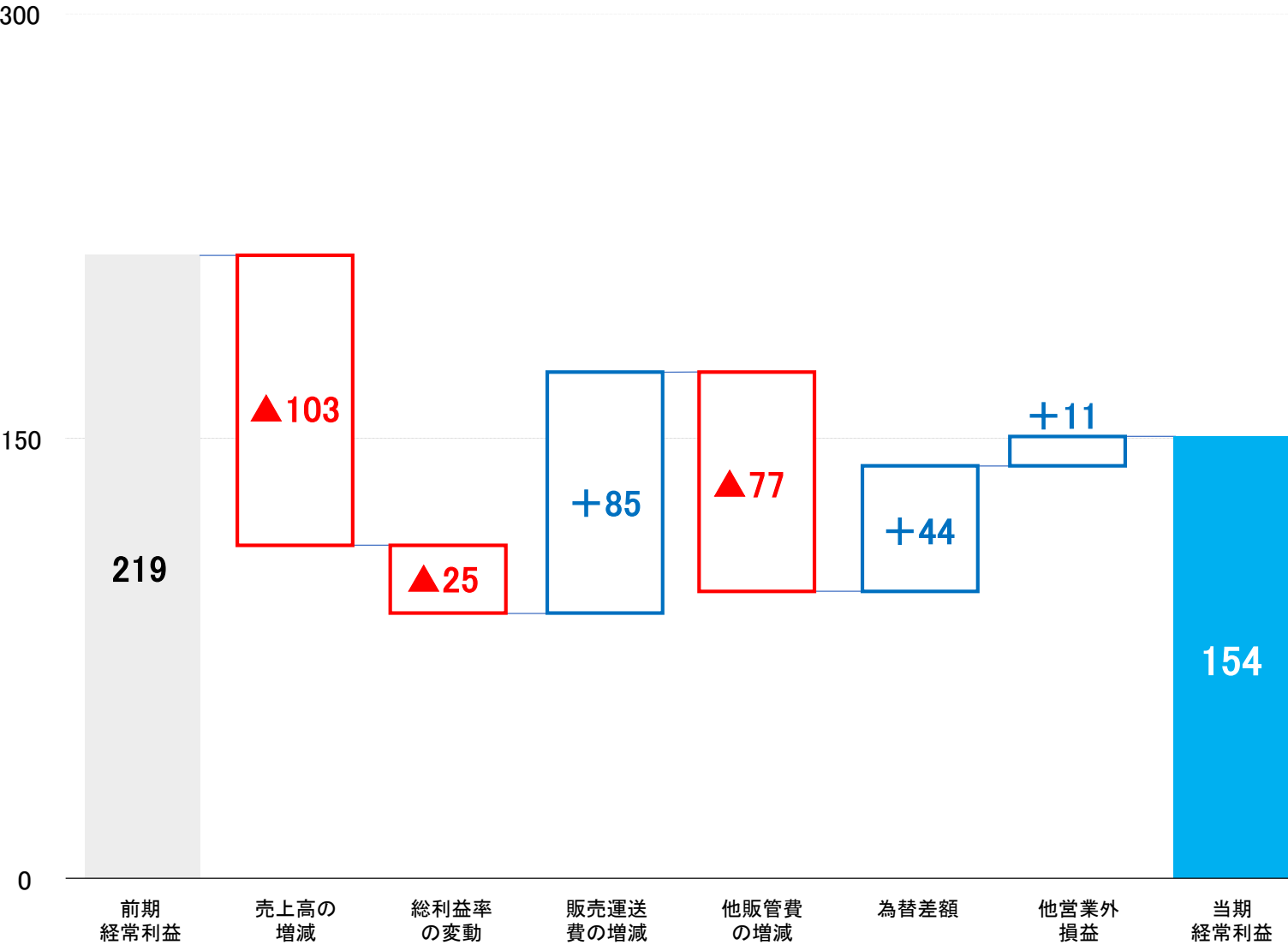
経常利益 (単位: 百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)



6. 対前年同期比 第2四半期連結経常利益の増減要因 (単位：百万円)



(単位：百万円)

経常利益変動要因	影響額(百万)	備考
売上高の減少	▲ 103	アフターコロナでの消費行動の変化が、当社主要マーケットである北米を中心にみられた
売上総利益率の変動	▲ 25	主に原材料や工場経費の値上げに伴う、売上総利益率の低下
販売運送費の増減	85	海運コストは横ばいながら、米国向けの便が航路渋滞等で届かず、便の本数も減少傾向にある
その他販管費の増減	▲ 77	主な増減要因については次頁を参照
為替差額	44	前年度と当年度の差額
その他営業外損益	11	

7. 主要な販管費科目の増減（単位：百万円）

（単位：百万円）

	2023/2期	2024/2期	増減額	主な要因
販売運送費	165	80	▲85	消費行動の変化に加え、米国向けの便が滞ったこと等による輸出量の減少
人件費	748	780	32	昇給等による人件費増
広告宣伝費	119	140	21	主に海外販路拡充のため、中国、北米でイベントへの参加等を実施
減価償却費	125	142	17	開発業務拡充に向け、中国で開発車両等を購入、国の特例による即時償却を実施
その他	435	443	8	主にコロナ明けに伴う出張等の増加で、旅費交通費等が増加
合計	1,592	1,585	▲7	販売費は、販売運送費を中心に67百万円の減 人件費は、31百万円の増 一般管理費は、減価償却費、旅費交通費を中心に28百万円の増

8. 2024年8月期 第2四半期貸借対照表の概要 (単位：百万円)

	資産		備考
	2023/8期末	2024/2期末	
現預金	1,994	1,695	有価証券満期償還による増加 棚卸資産の購入による減少等
売上債権	1,099	1,099	
他流動資産	3,202	3,531	棚卸資産+306
有形固定資産	5,168	5,189	機械装置及び運搬具(純額)+46
無形固定資産	153	137	
投資等	1,727	1,654	投資有価証券△75
繰延資産	—	—	
資産合計	13,345	13,307	

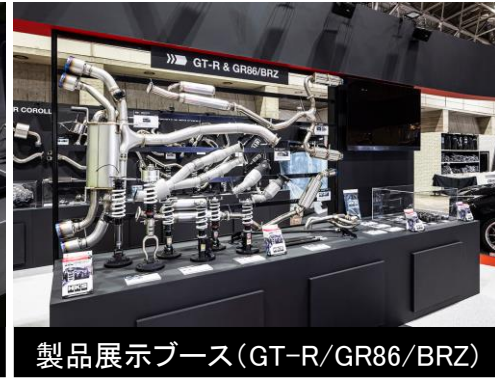
	負債・純資産		備考
	2023/8期末	2024/2期末	
仕入債務	942	899	
短期借入金	480	554	
他流動負債	1,020	782	未払法人税等+52
長期借入金	386	515	
他固定負債	524	515	
負債合計	3,355	3,267	
純資産合計	9,990	10,039	未処分利益+12 他有価証券評価差額+15
負債純資産合計	13,345	13,307	

9. 2024年8月期 第2四半期におけるトピックス

TOPIX 東京オートサロン2024に出展



「F-CON VPro+」(開発中)



製品展示ブース(GT-R/GR86/BRZ)



製品展示ブース(エンジン部品)

コンセプトカー部門 優秀賞受賞車 「HKS e-HIACE "Multi Energy" Concept」

液体燃料には、ガソリンに代わり、カーボンニュートラル燃料の使用を想定。気体燃料には、当社がコンバージョンキットの開発を通じて培ってきた、CNG/LPG燃料の双方を使用可能とし、純正エンジンを、駆動用ではなく発電機として用い、110kW級のモーターにて車両を駆動します。

次世代燃料の提案 「CNR Fuel」(開発中)

独自のレース用ガソリン「ドラッグガス」で培ったレーシングフューエル技術を投入、カーボンニュートラル燃料でありながら、ガソリン車のパフォーマンスを高めることも可能な、次世代燃料の提案を目指し、開発を続けています。



当社は、2024年1月に幕張メッセにて開催された「TOKYO AUTO SALON 2024」に出展いたしました。「Tune the next ~その先に挑め」をキャッチコピーに、出展テーマを「カスタマイズで実現するカーボンニュートラル」に定め、持続可能なカスタマイズの提案を行い、好評を得ました。

- 当社はオートサロンにて、テーマ性を含む以下の4台の車両を展示しました。
- ・環境に配慮したパワーと効率アップの実現をテーマにした「チューニングのカーボンニュートラル」(GR86)
 - ・当社が考えるカーボンニュートラルを最高峰のコンプリートカーとして表現した「コンプリートカーのカーボンニュートラル」(R35 GT-R)
 - ・先進技術で実現するカスタマイズの可能性の提案「先進技術のカーボンニュートラル」(HIACE)
 - ・サーキットへの移動を快適に楽しむ完全プライベート空間の提案「次世代ミニバンで、“その先に挑む”」(LEXUS LM)

また、同イベントにて、自社製作チューンドマシンの販売を手がけるプロジェクト「THE HKS」のスタートを発表しました。

10. 2024年8月期 第2四半期末までにリリースされたおもな新商品



新商品 VIITS BODY KIT for ABARTH595/695



CFRP製FRONT SPOILERは、主張しすぎず、あくまでアバルトの顔つきを残しつつ高級感を持たせたスタイリング



CFRP製サイドスポイラーは、シンプルにまとめたスタイリングで後方への整流効果及びドレスアップ効果を発揮。

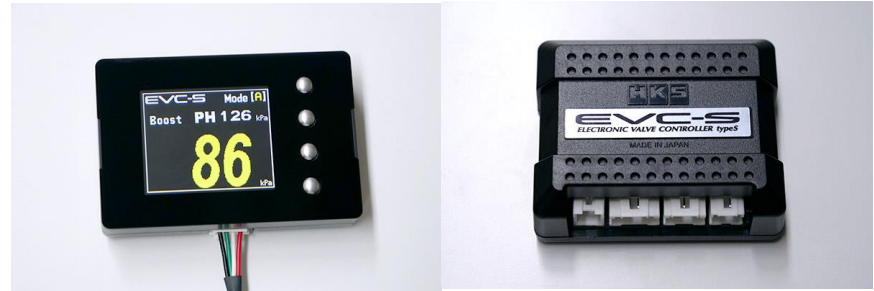
CFRP製リアサイドフィンパネルが装着され後方への整流効果とリアスタイリングの迫力を増すと同時に、車両全体デザインを整えています。



CFRP製ディフューザーは後方からのビジュアルに高級感を増し、純正との違いを味わえるスタイリングを実現すると共に、純正及び純正形状のインサートへ交換も可能としました。

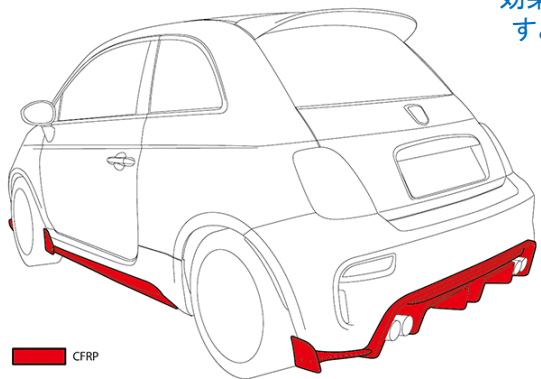
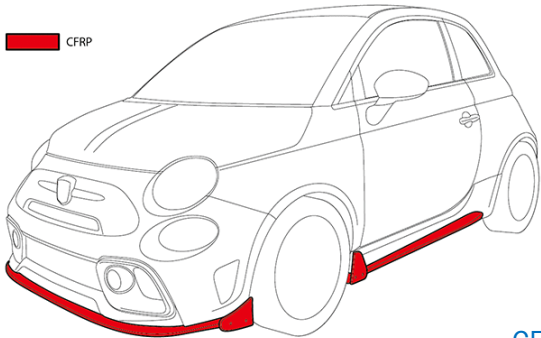
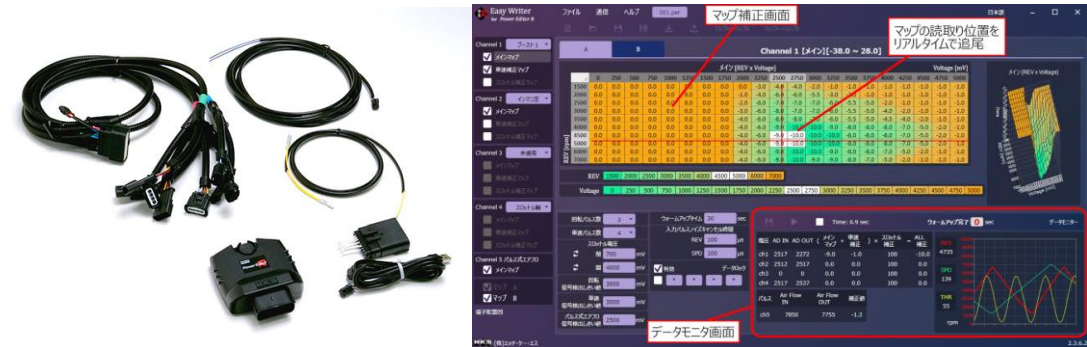
新商品 EVC-S2

ブーストコントローラー EVCのベーシックモデルであるEVC-Sを、より見やすく、使いやすく進化させました。表示エリアを2倍に拡大し、カラー表示を可能にしたほか、ドット表示を生かした多彩な表示により直感での操作を可能とし、視認性・操作性の向上を実現しています。機能面でも、ブースト設定を従来の2モードから4モードに拡張するとともに、新機能であるサーキットモード、スクランブルモードの搭載や、最大制御ブーストの引き上げなどにより、幅広いブースト制御に対応しました。



新商品 Power Editor R for GR YARIS

車両のセンサハーネスへのコプラーオンで、簡単にブーストアップすることができる制御装置、POWER EDITORの進化版であるPOWER EDITOR RIに、車種別キットとしてGRヤリス用を設定しました。回転信号に加え、車速信号やスロットル信号も制御に使用でき、各ギアごとに、あるいはスロットル開度ごとに最適な制御が可能な製品で、同製品にはGRヤリス用のプリセットデータが設定されているほか、Easy Writer(無償)により、ユーザオリジナルのカスタムデータを作成することができます。



①自身の経験を皆に共有し、互いに学び合い成長する

- ・従業員は、自身の力量を把握し成長目標を設定、会社はカリキュラムを組んで従業員に学ぶ機会を提供します。
- ・ベテラン社員が培ってきた知識・経験を、若いメンバーに積極的に伝えることのできる環境を作ります。
- ・人事評価制度については、職制からの意見集約結果をまとめ、改定案の協議を開始します。
- ・各従業員が、自部署の職場環境について自ら提案し、改善を進める風土を作ります。

②トラブル対応においても、お客様に感謝される対応を心がける。

- ・お客様からの不具合報告・不具合品はただちに品質保証部門へ展開し、全社にて状況を把握。緊急度区分にならない、即時対応を行います。
- ・問題が起きても失敗から学び、確実な対策を実施し、お客様に感謝される対応を心がけます。
- ・TPM活動を通じ、責任者は現場メンバーと一緒に他部署の取組みを見て学び、自部署、自身の現場に反映させます。

③常にお客様に関心を持ち、お客様を飽きさせない。

- ・定番商品、長く販売している商品のリニューアル・新シリーズ展開を積極的に推進します。
- ・バックオーダーの解消と在庫の適正化を推進。商品ランク毎に在庫目標を設定し、重要商材は安全在庫数の管理を行います。

④新たなお客様に向けた商品を展開し、世界中にHKSファンを増やす。

- ・グローバル展開をすすめるとともに、各拠点で現地車両に向けた商品開発を強化します。
- ・開発部門・営業部門とHKSテクニカルファクトリーが連携し、コンプリートチューニングカーの本格展開を開始します。
- ・スポーツカー向けにとどまらず、新たなカテゴリーへの商材展開で、新たなHKSファンを構築します。
- ・内製工場の利点を活かし、コアなHKSファンが満足する魅せる製品づくりに取り組みます。

⑤地域・社会の役に立つ取組みをすすめる。

- ・地域・社会の役に立つ活動、社会課題解決に向けた商品展開をすすめます。
- ・子供達に向けたHKSブランド認知を強化。将来のクルマ好き、HKSファンを増やす取組みの検討を開始します。